

会 議 録

会議名称	第1回 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会
日 時	平成30年10月22日（月） 15：00～17：15
会 場	豊岡市役所 大会議室（2階）
出席者	〔委員〕 藤野委員、碓井委員、平岡委員、田村委員、樋口委員、與田委員、宮下委員、大西委員 〔事務局〕 桑井地域コミュニティ振興部参事、木下文化振興課長、小川課参事(市民会館館長)、田中係長、真島 (株)シアターワークショップ 伊東、佐藤、東
欠席者	〔委員〕 杉山委員、赤澤委員、木村委員、平田委員
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会（あいさつ） 2 委嘱状交付 3 委員紹介 4 委員長及び副委員長の選出 5 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新文化会館整備基本構想・基本計画策定スケジュール (2) 文化芸術に関する社会的潮流の分析 (3) 文化会館の現状と課題の整理 (4) 文化会館（利用状況）の現状と課題の整理 (5) 市民・利用者の意見徴収の取り組み状況（進め方） <ol style="list-style-type: none"> ア 市民ワークショップ イ 関係団体ヒアリング ウ 市民アンケート調査 (6) その他 <ol style="list-style-type: none"> ○小ホールについて 6 その他 7 閉会
会議資料	資料① 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会名簿 資料② 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会設置要綱 資料③ 豊岡市豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会（第1回）資料
次回会議	平成30年11月19日（月） ※時間・場所（未定）

〈審議結果は次のとおり〉

1 開 会（あいさつ）〔森田副市長〕

中貝市長が所用のため出席できませんので、私が代わりごあいさつを申し上げます。
委員の皆さまには策定委員会委員を快くお引き受けいただきありがとうございます。

現市民会館は、本市の文化創造の拠点として、多くの市民に親しまれてきましたが、施設・設備の老朽化による劣化が著しくなってきたことから、出石文化会館（ひぼこホール）のホール機能を統合する形で新たな文化会館を整備することになりました。

この委員会では、新たな文化会館の位置や施設の規模、機能など多岐にわたりご審議いただくこととなります。

委員の皆さまには、市民にとってより良い文化施設を整備するため「基本構想・基本計画」の策定に向け、ご意見・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2 委嘱状交付

3 委員紹介

4 委員長及び副委員長の選出

委員長に藤野委員、副委員長に田村委員が選任される。

○藤野委員長

これからの若い世代のニーズにあった劇場・ホールを創り、地域文化に根を張り、世界に羽ばたいていけるようなアートマネジメントの仕組みを作っていきたい。

豊岡でしかできないものを作り上げて行きたいと考えていますので、委員の皆様のご協力をお願いします。

○田村副委員長

この新文化会館が、豊岡市の文化水準を底上げするきっかけになり、地域が活性化することを願っています。そのためにも、この委員会で活発な意見を交わせば良いと考えていますのでご協力をお願いします。

5 協議事項

(1) 新文化会館整備基本構想・基本計画策定スケジュール

○平成31年2月に基本構想（案）を提示し、3月に策定予定

平成31年度において、それぞれの項目を具体化し基本計画をまとめる。

○市民ワークショップを委員会と並行して計6回の開催を予定している。市民の幅広い意見を踏まえて策定委員会で合意を図っていく。

(2) 文化芸術に関する社会的潮流の分析

○全国の劇場・音楽堂等の状況について説明

(3) 文化会館の現状と課題の整理

(4) 文化会館（利用状況）の現状と課題の整理

○豊岡市民会館と出石文化会館（ひぼこホール）の現状と課題について説明

委員長 若者のホール離れの分析が必要、早く手を打たなければ、立派なホールを整備し、良い演目を上演しても劇場・ホールを維持していくことは困難。20年後に30、40歳になる世代が、新施設のコンセプトや内容に合意してくれるのか、また、大きな規模のホールが果たして必要なのかなど、新しい動きも察知して慎重に議論していきたい。

委員 大きな規模のホールはいらないが、クラシックバレエができるくらいのホールがほしい。1市4町のバレエ教室が集まって、ひぼこホールで発表会を行っ

ていた。学校の体育館のステージでは狭い。子どもたちの発表の場を失いたくない。

事務局 敷地・規模など決まっていない。市民の意見を聞き、この委員会で方針を検討していただくことにしているので、様々な意見をいただきたい。

委員 市民会館の年間収入が少ないのが問題。例えば、上演するだけでなく、その様子を世界に配信する。DVDや音源化して理财化を図るなどお金を生み出すような仕組みを作ってみてはどうか。

ハードの検討も必要だが、ソフト部分も大切。今回は、ホールの計画から運営まで考えることができる。先を見据え、運営のできる公共ホールにしたい。

委員 城崎国際アートセンターや豊岡市民プラザとの関係性や市内での役割について知りたい。豊岡市民会館と出石文化会館だけではなく豊岡市全体のホールの役割を整理した方がいいと思う。

事務局 次の小ホールに対する項目の中で説明する。

(5) 市民・利用者の意見徴収の取り組み状況（進め方）

ア 市民ワークショップ

○今年度は11月より月1回、計3回行う予定。募集人員は、1回20名～30名を予定している。広く市民の声を聞く機会として、委員の皆様にもPR等協力をお願いしたい。

イ 関係団体ヒアリング

○11月中に文化団体など30団体程度を対象に実施を予定している。

ウ 市民アンケート調査

○年齢や地域バランスに考慮し、一般市民を対象に3,000のサンプルを集める予定にしている。今年中に、分析までしたいと考えている。

(6) その他（小ホールについて）

○市内の主なホール・関連施設（文化会館・市民ホール・市民センター・コミュニティセンター）の整理及び小ホールについて説明

委員 共通認識として、ホール規模（大・中・小）について統一しておきたい。

事務局 公立文化施設協会によれば、500席までは小ホール、1,000席までが中ホール、1,000席以上が大ホールとなっている。

委員 出石文化会館が小ホール（500席以下）ということであれば、500席ほどのホールがあれば良い。来年は但東市民センターでバレエ発表会を行う。理由は、1,000席以上の市民会館を使いこなせないことと距離的に遠いから。

委員 練習だけを目的とした施設を各地域に再整備をする必要はないと思う。新施設には、大ホールのほかに小ホール（出石文化会館大ホール程度）とリハーサル室があればいい。

委員 大ホールはいらない。開館当初は1,000人超の催しもあったが、最近は埋めることもできない。今後、人口減少が避けられない中、大規模ホールは慎重に考えた方がいい。興業イベントの誘致ができるから大規模ホールにするのではなく、新たな付加価値が必要。例えば、高齢者にやさしい劇場、席もゆったり子どもにもやさしいホール、デザイン性は必要ない。機能を重視して、20・30年先を見据えたホールがほしい。

委員 デザイン性は必要ないのは同様。出石文化会館の小ホールと大ホールの続き配置のようなものは使いづらい。親子室は採用してほしい。

委員 演目によっては、1,000人を超える。1,000席以上のホールを議論から外すことは難しい。

委員 ホールにはステータスの要素もある。自分たちは、本番を行う際に練習場所として小ホールを利用する。小ホールの稼働率が高いと聞いたこともあるし、

録音に特化したホールもある。そういった意味では、コスト（適切な利用料金）とオペレーションのしやすさ、可変性などが小ホールの良さだと思っている。大ホールの客席数に関しては、採算性も考慮した検討が必要。

委員長　ホールはプロが使う、アマチュアが使うなど多様なケースがある。1,000席以上にするか否かは、多くの動員が必要な公演を現施設が年間どのくらいの本数行っているかを整理し、判断するべきと考える。

6 その他

第4回目以降の策定委員会の日程について、後日、皆さんに照会し、調整をしたいと考えています。その際には、ご協力よろしく申し上げます。

7 閉会